

大規模増殖場開発事業関連調査 ——石持地区——

(要 約)

三木 文興・沢田 満・足助 光久・三戸 芳典

石持地区(下北郡東通村岩屋、野牛、石持およびむつ市関根)における大規模増殖場開発事業は昭和50年～51年度に調査が行なわれ、昭和52年度から事業が実施されている。本事業はコンブ、ウニを対象とし、低利用砂礫地帯に石材およびコンクリート・ブロックを配置した増殖場を造成するもので、基本的には、既に事業を実施している今別地区と同様な構想である。

全体計画は地区内に9事業区(1事業区の面積は $560\text{ m} \times 310\text{ m}$)が造成される予定であるが、初年度にウニ区、次年度にコンブ区を造成する方式で事業を進めている。

そして、昭和52年度はウニ区2ヶ所、昭和53年度はコンブ区2ヶ所、ウニ区2ヶ所が造成されたが、これらの事業について、事業実施場所選定のための適地調査および造成された事業区におけるコンブの生育状況、ウニの生息・蛸集状況などの追跡調査を実施した。

調査結果については、完成した事業区における生産状況を把握した後、とりまとめ報告したい。